弘濟寺かわら版

第94号
令和3年9月17日発行
弘済寺 玉野千永編集
弘西寺131 0465(74)1717
弘済寺 検索

お地蔵さん修復日記

「キャー!! 4ヶ月ぶりー。
会いたかったあ〜〜。」

先日お地蔵様を修復してくれている三乗堂さんの鹿沼工房と小山工房にお邪魔してきました。修復は順調に進んでいて、訪ねた日はちょうど色塗りの前でした。修復箇所がよくわかる状態でお地蔵様にお会いすることができました。色塗りを終えてしまうと修復箇所はわからなくなってしまうんです。なくなっていた指や衣も新しく継ぎ足されていました。指の曲がり具合、指の離れ具合、衣のひだの流れ方等とても自然で、違和感がないので修理師の中さんにつなくなっている指などの箇所は完成形がわからないと思うのですが、どのようにして形を決めるんですか?」と聞いてみました。

鹿沼工房にて修理道具を説明してくれる秦崎さん(上)と井村さん(左)

「お地蔵さんをお預りしますが、全身の埃を小さな筆で払ったり、隙間ができてしまった箇所を埋めたり、お胎内までじっくりと見ていると、700余年前にこのお地蔵さんを彫られた仏師の気持ちが伝わってくるんです。こういう形にするだろうなと想像しながら時代背景も考えて、学芸員さんと相談し、欠損部分を作っていくんです。この仏師だったらお地蔵様を愛おしそうに見つめながらお邪魔できた事がとても素敵なご縁だと感じました。中さんは答えてくれました。ひとつひとつ丁寧に気持ちを込めて修復してくれている中さんは第一子の子育て真最中で、弘済寺の子育地蔵のが本当によくわかりました。今回のタイミングで、弘済寺さんがお邪魔できた事がとても素敵なご縁だと感じました。あと3ヶ月よろしくお願い致します。

「仏像の像底部はまず見ることがなく貴重ですから、ご覧下さいこちらも修理させて頂きました。」と、笑顔で説明する中さん。
「なる程。こんな部分は始めて見ました。貴重な絵面です!!」

さて、栃木といえば日光東照宮を思い浮かべる人も多いと思います。かわら版5月号の心雄ペダル「久能山東照宮と同様、徳川家康をおまつりしています。東照宮には日光山輪王寺が有り「東照宮」と「二荒山神社」「大猷院」の3社と仏堂で信仰を集めていたそうですが、今は神社とお寺が分かれ、「日光の社寺」として世界遺産に登録されています。ご本尊は千手観音、阿弥陀如来、馬頭観音の三体で三仏堂(本堂)にまつられています。左奥の徳川家光のお墓である大猷院(たいゆういん)の「二天門」には三乗堂さんが制作した「風神雷神」の複製像が安置されています。かつて陽明門にて東照宮を守護していた両像(重文)は現在宝物館に保存展示されています。明治の神仏分離政策により東照宮から輪王寺に移されました。

三乗堂の三名は輪王寺の本尊修理に携わっていて、そこで意気投合し、仏像修理工房を立ち上げたんだそうです。ということは、輪王寺の本尊さんと弘済寺のお地蔵さんは同じ病院の先生に診てもらっているような関係なんですね。そんなご縁を感じながら拝観させて頂くと仏様がとても身近に感じられます。

雨の輪王寺 三仏堂(本堂)

皆さんも東照宮にお出かけの際は、輪王寺三仏堂、大猷院の風神雷神像をお参り下さい。

左手を緩めたら今にも肩の袋から強い風が吹いてきそうな二天門の風神様

心雄ペダルは、お休みします

毎月２１日は午前６時より「朝のお勤め会」、午前１０時より「月例護摩祈祷」

寺カルチャー

・ヨーガ教室・

- 毎週水曜日10時～
- 弘済寺本堂にて
- 1回1000円

・タピボン教室・

- 10月13日(水)
- 11月10日(水)
- 12月 8日(水)

} 13時30分～ 客殿にて

- 1回1000円 要申込

※11月26日～12月5日に国立新美術館で開催される「カルチャー芸術展」に弘済寺タピボン教室の生徒さんの作品が出展されることになりました。ご興味のある方は足をお運び下さい。

・弘済寺客殿

秋の大作書 ➡

昴書道会
「拙」大木峻穂先生

・仏様を描いてみよう・

初回の写仏はいかがでしたか？今号は元気いっぱいの掌悪童子の写仏をお届けします。読み方はしょうあくどうじ。地蔵菩薩の向かって左側に立って、私たちの苦しみの原因を取り除いてくれるお役目を持つ仏像です。左手を曲げて胸の前で衣の端を握り、右手に金剛棒を持っています。眉間に皺を寄せ目を見開いて口をへの字にし、きかん気な表情をしていますが、ぽっちゃりしたお腹は子供っぽく、お地蔵さんを守ろうとする表情はガキ大将のような心強さを感じます。

お地蔵さんと両側を守る三体の姿はまるで水戸黄門さんみたいじゃないですか？掌悪童子は助さん、格さんで言ったら正義感があるけど、ちょっぴり遊び人の助さんタイプでしょうか？今回は少し細かい描写もありますが、皆さんも想像を膨らませてトライしてみて下さい。

マッコウクジラ

令和3年9月13日 神奈川新聞

9月13日小田原の海に「マッコウクジラ」が漂着しました。15mもある大きな鯨です。マッコウクジラは漢字で「抹香鯨」と書きます字の通りお香に由来しています。法要の時にお線香ではなく香炉にくべるお香のことを抹香といいます。粉状のお香です。昔中国に龍涎香(りゅうぜんこう)というお香がありました。龍の涎(よだれ)が固まった色と香り（←良い匂いのイメージではないけれど高貴な香りってことかな？）と考えられ、珍重されたそうです。このお香はCHANEL5番にも使われているそうですよ。龍涎香は海岸で発見されるとても貴重なものでしたが（1g 100万円と言われる!!）商業捕鯨が盛んだった頃にマッコウクジラの結石が龍涎香だと判明「抹香（のような龍涎香を体内に持つ）鯨」として抹香鯨と呼ばれるようになったそうです

以上抹香臭い話でした。

おしえてよーメンバー

Q. 日光はなんで日光っていうの？

A. 日光には信仰対象である男体山という山があります。昔は補陀落山と呼ばれていました。この補陀落山(ふだらくさん)が二荒山(ふたらさん)となりフタラをニコウと音読みして日光という字を当てたとされます。一説にはお大師さんが補陀落山に登った際命名したともいわれています。

補陀落山というのは仏教で観音菩薩が住むとされる山で、サンスクリット語のポータラカを漢字に当てたものです。中国チベット自治区にあるポタラ宮殿も観音信仰からきているんですよ。

レストラン マジェール
★法事用特別コース 4,000円
4名様より（個室完備）
☎82-0335
開成町宮台63（シャトレーゼ向い）
Pasta & Cafe' MAJEAL
Everyday Enjoy,more "E" zone
マジェール ～since1995～

ご贈答品のご用命は
足柄ハリカ
南足柄市飯沢51－4 火曜定休日
TEL（0465）74-5221

有限会社 勝又
南足柄市飯沢12-10
☎（0465）74-2306